

戦争法、TPP、社会保障切り捨てる安倍暴走政治をストップ

住みやすい海津市へ頑張る日本共産党へご支援を！



《経歴》1976年5月生まれ 40歳

高須小学校・日新中学校卒、大垣北高校卒、
金沢大学経済学部卒、愛知県信用保証協会などを経て、
現在は党西濃地区委員会勤務。党海津支部長。
妻・二児。▽海津町福岡7-1

本年9月予定の海津市議選

堀田市議に代わり松岡氏を擁立

あけましておめでとございます。
昨年は、戦争法、TPP、カジノ解禁推進法など、国民の多数の反対を無視して暴走の限りをつくす安倍政権を打倒するため、日本共産党など野党4党の回期的な共闘が実現しました。

本年予想される総選挙でも「野党共闘」を広げ、新しい政治の流れを切り開く決意です。

いま、県政をめぐる共同のたたかいが行われています。日本共産党は、県民の願いを県政に届けるため、212団体の人たちとともにたたかっています。

また、9月に予定される海津市議選では、これまでかかげがえのない日本共産党の議席を守り抜いた堀田市議に代わり、松岡ただし党海津支部長が頑張ります。

本年も、どうぞよろしく願っています。

党海津支部長

ただし

松岡 唯史



日本共産党海津市委員会は、9月に予定される市議選に松岡ただし党海津支部長を擁立すると発表しました。その政策を紹介します。

日本共産党議員のバトンを松岡さんへ

堀田みつ子市議

みなさまのご支援に支えられ、この18年間、微力ながら市民の方々の声や願いを市政に届けてまいりました。今日、議員の果たすべき役割はますます重要になってきていると思いますが、私は90歳になる父の介護もしている、その両立が困難だと痛感しているとき、かかげがえのない日本共産党の議席を守るべく、若い松岡さんが決断をしてくださいました。

どうかみなさまの変わらぬご支援をお願いいたします。

私の決意

このたび、堀田みつ子市議から引き継ぐことになりました。松岡ただしと申します。合併して11年が過ぎた海津市では、人口減少と少子高齢化という大きな問題が横たわっています。この問題を解決するのは容易ではありませんが、これからも住みやすい海津市であるためにみなさんと力を合わせて、未来を開いていきたいと思えます。海津市のため、市民のために一生懸命汗を流す所存ですので、よろしく願います。

私たちはこんなまちづくりをめざします

- チェンシ1：子育て支援
 - 高校生までの医療費無償化
 - 市独自の給付制奨学金
 - 育児退園問題の解決
 - 給食費の無償化
 - 子育てファミリー世帯向け家賃補助の創設
- チェンシ2：高齢者支援
 - 健康で活動的なくらしを応援
 - 国保料・介護保険料の引上げ抑制
- チェンシ3：公共交通支援
 - 市民が利用しやすい交通システムの確立
- チェンシ4：産業の育成
 - 使い勝手の良い住宅リフォーム制度の創設
- 新規就農者への住居提供制度の創設
- チェンシ5：平和で安心な街に
 - 非核平和都市宣言
 - 再生可能エネルギーの利用促進
- チェンシ6：公正中立な市政を
 - 駒野工業団地や公費支出問題などへ市民目線の追及
 - 生活困窮者への親身な対応



1月10日、ヨシツヤ前で新春の抱負を語る松岡ただし支部長と堀田みつ子市議

12月議会 報告

第4回定例会が、12月7日から16日まで開かれました。堀田議員は子育て支援、デマンドバス、徴税事務について一般質問をしました。内容をお知らせします。

子育て支援として 就学援助制度の充実を



準備費用が入学前に支給されます。

中学校入学準備費用は、来年度以降からの実施に向けて検討すると答弁がありました。小学校入学前にも支給できるように求めました。

就学援助制度の 入学前の適用が 検討される

制度の充実を求めるため、堀田議員は9月議会に引き続き、就学援助制度について一般質問をしました。なかでも入学準備費用は、日本共産党の田村智子参議院議員が国会で入学前の援助金の支給を要求し、文科省の初等中等教育局長が、「必要とする時期に速やかに支給できるように十分配慮するよう通知しているが、市町村に引き続き働きかけていく」と述べています。地域によっては入学

また、就学援助が必要な家庭すべてが、受給できるように周知徹底を求めるとともに、市のホームページには受給要件の金額などを提示した事例を載せてほしいことを求めましたが、各家庭の実情が多岐にわたるので気軽に尋ねてほしいと、答弁がありました。

さらに、「就学援助金を学校にもらいにくいので、就学援助はありがたいが「つらい」との声を聞き、支給方法についても改善を求めました。

支給方法は、就学援助

就学援助規則

第9条 援助金は認定保護者に対し直接給付する。ただし、認定保護者が援助金の受領を就学対象となっている児童・生徒の属する校長に委任したときは、当該援助金は校長に給付するものとする。

2. 認定保護者が学校徴収金を滞納した場合は、教育委員会が定めるところにより、援助費の受給その他一切を校長に委任するものとする。

規則に則し、すべて認定保護者の通帳に振り込むように改善するとの答弁でした。

病児・病後児保育 の充実を

病児・病後児保育について、「風邪など病気の時期が重なりあずけることができなかった」や「休園であずけることができなかった」との声があるので改善を求めました。

「平成25年度は208件の利用があったが、平成26年度は172件、平成27年度は154件で減少傾向。1日当たりの平

均利用者が1人に満たないこともあり、当面1カ所の運営で」とのことでした。休園の要因である看護師の確保はなされたとの答弁がありました。

デマンドバスを 利用しやすく

デマンドバスは、公共交通会議を開催し見直されていますが、「土・日が使えないのは不便だ」との声があり、尋ねました。

「運行時間の延長や、土・日運行の要望は、運行経費の増大につながり、どの程度の需要があるか、見極めが必要で、今後検討」との答弁がありました。

くらしに寄り添う 対応の徴税事務に

安倍政権下での年金の引き下げや、賃金の目減りなど、日々の暮らしが苦しくなっています。

税金の督促手数料や延滞金など、生活困窮の方への減免や免除の適用をすることなど、柔軟な対応を求めましたが、「督促手数料は応分の経費負担

を求めるもの」「くらしサポートセンターと連携を図りながら生活困窮者への自立支援に取り組む」との型どおりの答弁のみでした。



生活保護申請や困りごとなど生活相談をお寄せいただく場合の連絡先

堀田みつ子市議 電話・fax 57-2040
松岡唯史 電話・fax 53-2228

議員の期末手当の引き上げは否決 市長などの期末手当の引き上げは可決

第4回定例会では、人事院勧告に基づいて、議員や市長など特別職職員の期末手当を引き上げる条例の一部改正案が提出されました。他市町村でも提案されています。

海津市議会では、前回第3回定例会で公共施設の利用料を値上げしたことなどの理由で、議員の期末手当を引き上げることに反対8名、賛成5名で否決しました。しかし、市長などの期末手当を引き上げることは、反対2名、賛成11名で可決しました。

共産党の堀田議員は、両方の議案に反対しました。また、前回の定例会で利用料金の値上げにも反対しています。前回の定例会で公共施設の利用料引き上げを提案してきた市長などの特別職職員も期末手当は引き上げるべきでないと考えます。



国会議員や共産党の政策などお知らせしています。